

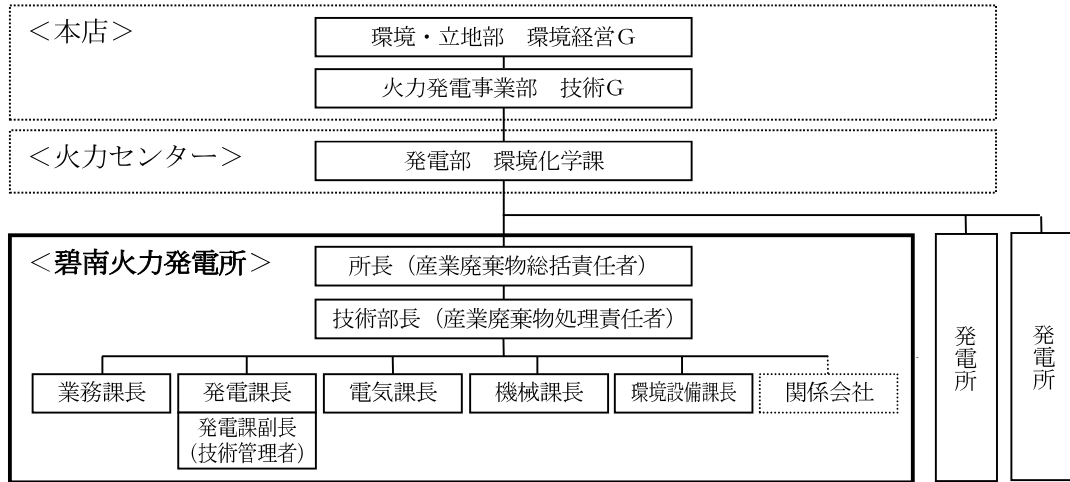
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
平成 2 9 年 6 月 2 8 日	
愛 知 県 知 事 殿	愛知県名古屋市東区東新町 1 番地 中部電力株式会社 代表取締役社長 勝野 哲 社長執行役員 代理人 愛知県碧南市港南町二丁目 8 番 2 中部電力株式会社 碧南火力発電所 所 長 安井 稔 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 5 6 6 - 4 8 - 8 5 6 1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	中部電力株式会社 碧南火力発電所
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市港南町二丁目 8 番 2
計 画 期 間	平成 2 9 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	3 3 : 電気業
②事 業 の 規 模	送電端電力量 2 9 , 3 3 6 , 3 4 8 M W h
③従 業 員 数	2 7 2 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	排 出 量	862,268.200 t	73,873.060 t	136,174.760 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (これまでに実施した取組) 当発電所から発生する廃棄物は、石炭灰（ばいじん、燃え殻）が大半を占めており、発生量は発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指した。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	排 出 量	944,000 t	43,000 t	136,164 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 産業廃棄物（石炭灰）の発生量は、発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指す。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別が困難な廃棄物の排出はなく、すべての廃棄物について、種類ごとに分別した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 平成29年度も引き続き、すべての廃棄物について分別が出来るよう取り組む。当社にて分別ができない混合廃棄物が発生した場合は、全量を選別および再利用可能な処理業者に委託する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理無機性汚泥)	汚泥 (排水処理有機性汚泥)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	72,758.160 t	3,604.010 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥は、自社で中間処理（脱水）しており、85%程度減量している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理無機性汚泥)	汚泥 (排水処理有機性汚泥)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	86,400 t	3,847 t
	(今後実施する予定の取組) 平成29年度も引き続き、自社で85%程度の減量を目指す。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成２８年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	94,569.830 t	17,245.290 t	49,975.410 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (これまでに実施した取組) 発生した石炭灰（ばいじん、燃え殻）は、有価販売、再生利用（セメント原料）を行い、残りを自社構内および処理委託で最終処分している。 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売の促進およびセメント原料としての利用促進により、最終処分量の削減を目指した。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	46,000 t	0 t	27,500 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の、有価販売およびセメント原料としての利用を促進し、最終処分量を削減する。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成２８年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	767,698.370 t	56,627.770 t	9,837.180 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	30,960.800 t	0.000 t	9,617.670 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	767,698.370 t	56,627.770 t	350.650 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	197.110 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	32.030 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (これまでに実施した取組) 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売およびセメント原料としての利用促進により、産業廃棄物としての石炭灰の量を削減した。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進した。			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	898,000 t	43,000 t	25,960 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	20,000 t	24,000 t	20,239 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	898,000 t	43,000 t	351 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	204 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	32 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 平成29年度も引き続き、再生利用できる委託先との契約を推進する。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料

○産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

平成28年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	94,445.920
汚泥(排水処理有機性汚泥)	3,846.820
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	37,666.640
金属くず	7.570
廃油	65.390
汚泥(魚貝類)	129.700
廃プラスチック	9.500
ガラスくず・陶磁器くず	2.990
汚泥(シリカゲル)	0.230
合 計	136,174.760

平成29年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	99,300
汚泥(排水処理有機性汚泥)	3,847
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	32,800
金属くず	8
廃油	65
汚泥(魚貝類)	130
廃プラスチック	10
ガラスくず・陶磁器くず	3
汚泥(シリカゲル)	1
合 計	136,164

○自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

平成28年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	19,999.740
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	29,975.670
合 計	49,975.410

平成29年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	12,900
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	14,600
合 計	27,500

○産業廃棄物の処理の委託に関する事項

平成28年度実績 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	1,688.020
汚泥(排水処理有機性汚泥)	242.810
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	7,690.970
金属くず	7.570
廃油	65.390
汚泥(魚貝類)	129.700
廃プラスチック	9.500
ガラスくず・陶磁器くず	2.990
汚泥(シリカゲル)	0.230
合 計	9,837.180

平成29年度計画 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	7,300
汚泥(排水処理有機性汚泥)	243
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	18,200
金属くず	8
廃油	65
汚泥(魚貝類)	130
廃プラスチック	10
ガラスくず・陶磁器くず	3
汚泥(シリカゲル)	1
合 計	25,960

平成28年度実績 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	1,688.020
汚泥(排水処理有機性汚泥)	32.030
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	7,690.970
金属くず	0.000
廃油	65.390
汚泥(魚貝類)	129.700
廃プラスチック	9.500
ガラスくず・陶磁器くず	1.830
汚泥(シリカゲル)	0.230
合 計	9,617.670

平成29年度計画 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理無機性汚泥)	1,800
汚泥(排水処理有機性汚泥)	32
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	18,200
金属くず	0
廃油	65
汚泥(魚貝類)	130
廃プラスチック	10
ガラスくず・陶磁器くず	1
汚泥(シリカゲル)	1
合 計	20,239

平成28年度実績 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理有機性汚泥)	210.780
金属くず	7.570
廃油	0.770
汚泥(魚貝類)	129.700
ガラスくず・陶磁器くず	1.830
合 計	350.650

平成29年度計画 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理有機性汚泥)	211
金属くず	8
廃油	1
汚泥(魚貝類)	130
ガラスくず・陶磁器くず	1
合 計	351

平成28年度実績 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油	64.620
汚泥(魚貝類)	129.700
廃プラスチック	2.790
合 計	197.110

平成29年度計画 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油	64
汚泥(魚貝類)	130
廃プラスチック	10
合 計	204

平成28年度実績 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理有機性汚泥)	32.030
合 計	32.030

平成29年度計画 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水処理有機性汚泥)	32
合 計	32

以 上

碧南火力発電所 産業廃棄物発生フロー図

別紙

